

第14講	欧米近現代史	学習日 月 日	名前:
------	--------	---------	-----

1. 帝国主義時代の欧米諸国

19世紀後半～20世紀前半、欧米が海外に植民地などを求めて進出した動き

① 帝国主義の成立

(1) … 19世紀後半、石油・電気を動力に重化学工業が発展

→ アメリカ・ドイツが工業生産でイギリスを抜く

(2)の成立 … 市場を独占した一部の大企業群

形態:カルテル(企業連合)、トラスト(企業合同)、コンツェルン(企業連携)

(3)の成立 … 資本輸出の対象として植民地を求める = 胃袋の問題

→ アフリカやオセアニアに至るまで、世界の大部分が列強によって分割される

② イギリス … 世界の工場から転落

・ 1906 (4)が成立 … 労働者が支持、自由党に代わって台頭

・ アフリカでは、エジプト～ケープ植民地をつなぐ(5)を推進

・ 1914 アイルランド自治法が成立 … ただし、北アイルランドは分離

③ フランス … 第三共和政は小党分立で政情が不安定

・ 1891 (6)が成立 … ドイツによるフランス包囲網を脱出

・ アフリカでは、サハラ～ジプチをつなぐ(7)を推進

④ ドイツ … 皇帝(8)が世界政策を推進

・ イギリスに挑戦して建艦競争を展開。バルカン半島や中東にも進出

⑤ ロシア … フランス資本を導入して(9)を建設

・ 1905 (10)の勃発 … 日露戦争中

民衆のデモに警備兵が発砲した(11)がきっかけ

・ 皇帝ニコライ2世は(12)=国会の解散と憲法制定を約束

⑥ アメリカ … 国内では独占資本(特にトラスト)の形成が進む

・ スペインとの戦争に勝利してフィリピン、グアム、プエルトリコを獲得

→ 中南米に勢力を拡大する(13)をすすめる

・ 中国進出にも関心 … 日露戦争後の(14)を仲介

2. 第一次世界大戦 … 史上初の総力戦

① 背景

・ 帝国主義列強の対立 … (15) VS (16)

・ バルカン危機 … バルカン半島は(17)と呼ばれた

② 経過

・ 1914年6月 (18) … 奥の皇太子夫妻が暗殺

・ 新兵器の登場 … 航空機、毒ガス、戦車、機関銃、潜水艦など

→ 膠着状態が続き、塹壕戦、長期戦、(19)へ

・ 1917 ドイツが(20)を開始 → アメリカの参戦

・ 1918 同盟国側が次々に降伏、協商国側の勝利で11月に終戦

3. ロシア革命 … 世界史上初の社会主義革命

① 1917 (21)の勃発 … 帝政ロマノフ朝の滅亡

原因:第一次世界大戦の度重なる敗戦、都市の食糧難

首都(22)で労働者が蜂起 → 皇帝(23)の退位

② 1917 (24)の勃発 … 社会主義革命

・ (25)が率いる(26)が臨時政府を打倒

・ 1918 共産党員が武力で議会を閉鎖、一党独裁を確立

・ 1919 (27)を結成 … 世界各国の共産党を支援

③ 1917～22 資本主義諸国は対ソ干渉戦争を行う

・ 日本はその一環として(28)を行うが、成果なく終了

④ 1922 (29)が成立(ソヴェエト社会主義共和国連邦)

・ はじめロシア・ウクライナ・ベラルーシ・ザカフカースが参加。のち15か国に。

・ 1924 レーニン死去 → トロツキーを倒した(30)が独裁者に

・ 1928 (31)を開始 … 社会主義的な計画経済

→ 資本主義諸国との関係が薄く、世界恐慌の影響をほとんど受けない

